

事務事業	11009	町立保育園維持管理事業	担当課 課長	子育て支援課 吉原 正治	担当係 担当者	保育係 瓜生 康亮
計後 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	130 子育てしやすい保育環境を整える		款	3	民生費
				項	4	児童福祉施設費
				目	2	保育園費
法令根拠条例等			児童福祉法 保育所設置条例		個別計画	
実施期間	□28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		S39 年度より開始	□期間限定(複数年)		年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 町立保育園で保育事業が安全で快適に行えるように、施設の維持管理を行う。		<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
		主 な 事 業 費 の 内 訳	樹木管理委託料
			994 千円
			施設修繕料
			950 千円
			施設清掃委託料
		685 千円	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 修繕、業務委託契約、工事請負契約、委託金等支払		機械警備委託料	351 千円
		補修用材料	254 千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 修繕、工事、業務委託	事務 事業 の 目 的
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 町立保育園	
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 保育園が安全で快適に運営できるように維持管理を行う。	

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値		
名称	単位	27年度	28年度	29年度
ア 修繕件数	件	403	544	550 (見込)
イ 工事件数	件	0	0	0 (見込)
ウ 委託等件数	件	18	18	18 (見込)
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値		
名称	単位	27年度	28年度	29年度
ア 町立保育園数	園	3	3	3 (見込)
イ				(見込)
ウ				(見込)
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値		
名称	単位	27年度	28年度	29年度
ア 事故件数	件	目標	0	0
		実績	0	0
イ		目標		
		実績		
ウ		目標		
		実績		
エ		目標		
		実績		
オ		目標		
		実績		

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)	27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	国・県支出金、地方債等						
	受益者負担等	3					
	一般財源	4,698	5,190	4,979	5,316		
	合計(A)	4,701	5,190	4,979	5,316	0	0
	(内臨時・嘱託職員人件費)	1,276	1,328	1,296	1,345		
	正職員人件費[按分](B)	760	1,047	1,050	1,285		
トータルコスト(A)+(B)	5,461	6,237	6,029	6,601	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
昭和39年1月に町立保育園を設置し、以後も保育園を開設して昭和54年3月に5園となった。 その後、民営化のため、町立保育園を平成20年3月に1園、平成25年3月に1園廃園し、私立認可保育園を設置した。 保育を安全かつ快適に運営していくため一つの事業として位置づけを行った。	園舎建築から年数が経過していくにつれ、補修・工事等、維持管理業務の件数及び事務量も増加してきた。	保育所園長から必要な修繕要望が上がってくる。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	保育園の維持管理は、子どもを安心して育てる施策に結び付いている。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	安全安心な子育て環境整備を行うことは、行政の役割として妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	予算の範囲内で必要な維持管理を実施しているため、継続して安全な状況が保たれている。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	施設を安全、快適に使用できなくなる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	修繕については、軽微なものは営繕作業員に行ってもらうなど経費削減を図っており、委託業務は必要最低限のものを委託しているため削減できない。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

例年行っている施設清掃等や大きな修繕等を委託により適正に行えた。 また、22年度から雇用した営繕作業員の作業内容が引き続き良好で、数多い軽微な修繕について外部に発注することなく、安価で素晴らしい成果を上げている。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	